



北 ききょう



文責 尾中一彦

ますます厳しい「たたかい」が続きます

予定よりも2日遅れて2学期が始まりました。滋賀県が緊急事態宣言の対象地域に追加されたことであっての延期となったわけですが、理由はそれだけではありません。滋賀県の状況はもちろんのこと、高島市の状況が急激に悪化しています。2020年4月から2021年7月までの16か月の感染者数の合計を8月の1か月間だけで超えています。(112名(7月末)→228名、20歳未満は18名(7月末)→44名:いずれも8/25現在)まさに過去最悪の状況です。将来、「コロナ禍は2021年8月が最悪だった」とふりかえることができるよう、これ以上の更新がないよう誰もが望んでいるところです。

しかし、これ以上の心配をする声が連日報道されているのも事実です。2学期が始まり通学を含めた人の流れが増えることや流行しているウイルスの感染力が強く、上記のように20歳未満の感染者が急増していることなど、心配はつきません。今まで以上に感染予防対策を講じて学校生活を始めます。裏面のとおりに、ご協力をよろしくお願いいたします。

今週の日課について(おしらせ)

9/1(水)~9/3(金)は、午前中日課となります。9/6(月)から給食を開始し通常日課となる予定です。

午前 中日 課	朝の会	8:20	~	8:40
	1校時	8:40	~	9:20
	2校時	9:25	~	10:05
	3校時	10:15	~	10:55
	4校時	11:00	~	11:40
	帰りの会	11:40	~	11:55
	下校	12:00	(バス	12:24 発)

なお、下校後にオンラインミーティングをおこないます。

14:00 ~ 14:40 (1.3.5年生)

15:00 ~ 15:40 (2.4.6年生)

9月1日に学校で練習をし、タブレットパソコンを持ち帰ります。操作を十分に身につけるまでには至らないかもしれません。今後に備えて3日間で試す機会と考えています。

オンラインミーティングの操作方法について

昨年5月、全国的な臨時休業中に各学年4回ずつのオンラインミーティングを実施しました。当時は人数分のタブレット端末がなく、ご家庭のパソコンやスマートフォン等で対応していただきましたが、今回は一人に1台ずつ配備されたタブレットを使用します。

くわしい方法は、各学年から配付のおたよりをご覧ください。(参加ID・パスワードも記載)ホームページでも操作方法を公開しています。(ID・パスワードは公開していません)

昨年と異なる点は…

- 今回は、3つのミーティングを同時に開催します。(昨年は1つ)そのため、同時に100名以上がミーティングに参加することになります。(最大で151名)
- とくに初回は、「音声がかえらない」「画面が映らない」等のトラブルが多くありました。学校にご連絡いただきましたら可能なかぎり対応するようにしますが、電話が混みあってつながらない事態も想定されます。ミーティング終了後に対応させていただき、翌日に備えるといった場合もありますので、予めご了承ください。

タブレット端末の利用について

全員が学校のタブレットを用いたオンラインミーティングは、今回が初めてとなります。ミーティングへの参加の有無や不具合などについては、9月2日(木)、3日(金)に児童から聞き取りをさせていただきます。詳しい不具合の状況については学校へご連絡いただくと幸いです。

また、ご家庭で充電できるよう、充電用アダプター・充電用ケーブルも持ち帰ります。9月6日(月)の登校時にすべて持たせてください。(9月2日(木)3日(金)に学校で使用する学年については、連絡帳等で児童に伝えます。)持ち帰りや持ち運びについては、ていねいに扱うようご家庭でもご指導ください。

感染症対策について(おねがい)

滋賀県および高島市で感染者が急増しています。学校内でクラスターを発生させないためにも、これまでも増して感染症予防対策を実施します。つきましては、以下の点についてご理解、ご協力をお願いします。

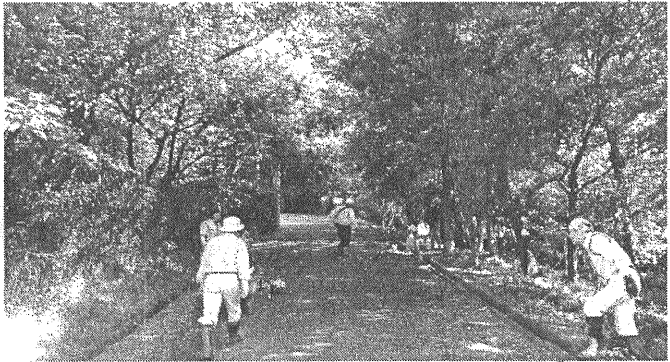
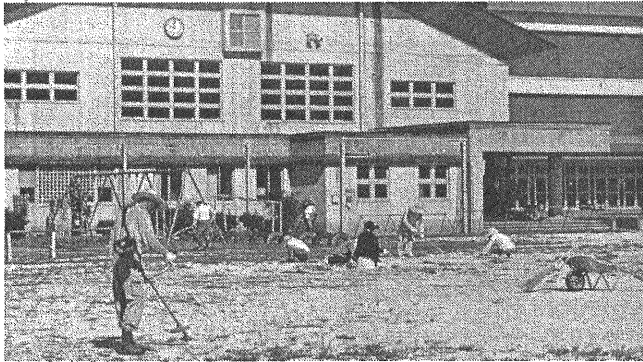
- 発熱や倦怠感、のどの違和感等の風邪症状がある場合には、登校を見合わせていただき自宅で休養をしてください。
- ご家族のみなさまも毎日の健康状態を確認していただき、ご家族に同様の症状がみられる場合も登校を控えるようにしてください
- 毎日の検温・健康観察を引き続きお願いします。緊急事態の期間中は、健康観察票を校舎外(児童昇降口前)で回収・確認します。すぐに取り出せるようご配慮ください。
- 朝の記録がない児童は職員がその場で体温を計測します。当日の検温で37℃を超える場合や、体調不良のある場合は、別室にて経過を観察することとします。
- 回復が見込まれないと判断した場合は、お迎えのお願いをすることもあります。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

屋外をきれいにさせていただきました

8月28日(土)に予定していたPTA環境作業は、感染状況を考慮して屋外だけに縮小して実施の案内をさせていただきましたが、緊急事態宣言を受け、すべてを中止せざるを得なくなりました。

そんななかメンバーの大半が7月までに2回の接種を終えられている大師山ボランティアサークルのみなさまと北小希望の会のみなさまが、酷暑のなか校地内の草刈り・草むしりをしてくださいました。また、並行してウッディーパーク内の会員のみなさまが『愛鳥の森』の下草刈りをしてくださいました。

世間はこのような状況ですが、子どもたちに気持ちよく2学期を迎えてほしい、4年生には郷土の自然に親しむ野外活動を楽しませたいという地域のみなさまの思いに胸が熱くなる時間を過ごすことができました。みなさま 本当にありがとうございます。



9月 学校行事予定

1日 (水)	始業式 午前日課(12:00下校)	19日 (日)	家読の日
2日 (木)	午前日課(12:00下校)	20日 (月)	敬老の日
3日 (金)	午前日課(12:00下校)	22日 (水)	クラブ活動
6日 (月)	給食開始 学年費口座振替(全学年)	23日 (木)	秋分の日
7日 (火)	委員会活動(1~4年は水曜日課)	24日 (金)	5年稲刈り
		29日 (水)	委員会活動

学校の感染防止対策として、9月中は、市内の全小中学校で修学旅行をはじめとする校外学習、運動会、体育祭、文化祭などの行事を中止しています。以前にお知らせしました校外学習やひびきあい活動、学習参観の予定を中止や延期とさせていただきます。延期して実施する行事は改めてお知らせします。また、10月以降については現時点では判断しておりません。今後の感染状況を考慮し、決定次第お知らせします。

毎朝の健康観察票の提出方法の変更については、緊急事態宣言の期限である9月12日までとします。この期間は校舎に入る前の提出方法をとります。(受付用のテントを設置しています)宣言解除後は、教室での提出となります。引き続きの検温や健康観察をお願いします。

飛沫感染の可能性が高い学習活動を避けて学校生活を送ります。子どもたちのストレスも心配されます。お子さんの様子を観察していただき、小さな異変を感じられた場合は、学校にも情報をください。学校からも同様にご家庭に連絡をさせていただくこともあります。



ききよう



文責 尾中一彦

深まりゆく秋

暑かった季節が過ぎ、秋まっさかり。秋分を終え秋を折り返して季節は着実に冬へと進み出しています。暑くもなく寒くもなく何をするにもいい季節はあっという間に過ぎ去ってしまいます。8月末からの緊急事態は明日をもって終わるものの、なかなか自由にはなりません、この季節を楽しみたいものです。

さて、七草がゆで知られる春の七草は有名ですが、秋にも七草があるのをご存知ですか。秋の七草は万葉歌人山上憶良の作品が始まりとされているそうです。

「秋の野に 咲きたる花を 指(および)折り かき数ふれば 七種(ななくさ)の花」
その七種とは…「萩(はぎ)の花 尾花(おばな…ススキ) 葛(くず)花 撫子(なでしこ)の花 女郎花(おみなえし) また藤袴(ふじばかま) 朝貌(あさがお…キキョウ)の花」春の七草が七草粥にして無病息災を祈るものに対し、秋の七草はその美しさを鑑賞して楽しむものです。それだけではなく、薬用など実用的な草花として昔の日本人に親しまれたものが選ばれていると言われています。

最後にある朝貌は、桔梗(ききょう)のことだと言われています。新旭北小学校の学校だよりのタイトルとして代々受け継がれてきたこの桔梗ですが、その形の良さから多くの武将の家紋に用いられました。昨年のNHK大河ドラマ『麒麟がくる』でも滋賀県とゆかりの深い明智光秀(明智家)の家紋として目にする機会がありました。桔梗の根を乾燥させ粉末にしたものは、痰や咳の薬として用いられるそうで、絶滅危惧種に指定されている花でもあります。花言葉は、「清楚、気品、誠実、従順、変わらぬ愛、優しい温かさ」です。

では、新旭北小学校と桔梗にはどんなかわりがあるのでしょうか。毎月発行しながら、こんな質問を受けたら答えられない私ですが、この機会に知っておきたいと思い、十年前に校長をされていた三田村治夫さん(日爪在住・希望の会メンバーとして日々学校支援をしてくださっています)に尋ねてみました。それは校章にも表されていることを教えていただきました。新旭北小学校の校章のいわれは饗庭野の大自然のなかに咲く桔梗をデザインしたものだそうです。この校章の歴史は古く、明治37年の記録には校旗があり、その校章は、外枠の桔梗の真ん中に「饗」の文字をデザインしたものだったそうです。(当時は饗庭尋常高等小学校)昭和30年に新旭町制となり、昭和37年に現在の校章に変わりました。外枠の桔梗は残したまま、中央には「旭」(朝日)を象徴した円形と、「北」「小」の文字を表したデザインに一新したそうです。秋は、郷愁を誘う季節です。この機会に学校の歴史に触れられたことに幸せを感じます。

長いたたかい

今月はコロナ感染による部分休業(学級閉鎖)を行いました。今後も、誰が、いつ感染してもおかしくない状況は続きそうです。十分な感染対策をしながら教育活動を進めていきます。しばらくの間、接触が多くなる恐れもあることから外遊びをせずに過ごしていますが、子どもたちのストレスが高まっているのも事実です。状況を見ながら解除をしていく予定です。

無症状であるからといって安心なわけではありませんが、現在のように感染レベル2や3の状況下では、本人やご家族が発熱や体調不良のあるときは、登校することができません。(感染予防のための登校見合わせの場合も同様に出席停止)

報道からは、「冬季にまた流行」「2,3年は続く」…等、悲観的な内容も目に入ります。すでに長期戦になっていますが、さらに続くことを覚悟しなければなりません。最も恐れていることは、「慣れ」「気のゆるみ」です。そういう意味では、自分とのたたかいでもあります。これが最も苦手とする敵(私見)です。

遊びやすい運動場に

このほど、運動場の東側中央(県道・歩道との境)に排水用の溝を作っていただきました。県道が運動場よりも高くを走っているため、大雨の日や、冬季の融雪水が出る時には、県道上の水が運動場に流れ込み、ジャングルジムあたりにたまってしまっていました。滋賀県土木事務所の計らいにより、このぬかるんだ状態が解消されます。

これで、大雨の翌日であっても、寒い日であっても遊具で遊びたい子の気持ちにこたえることができます。関係者のみなさまに感謝いたします。



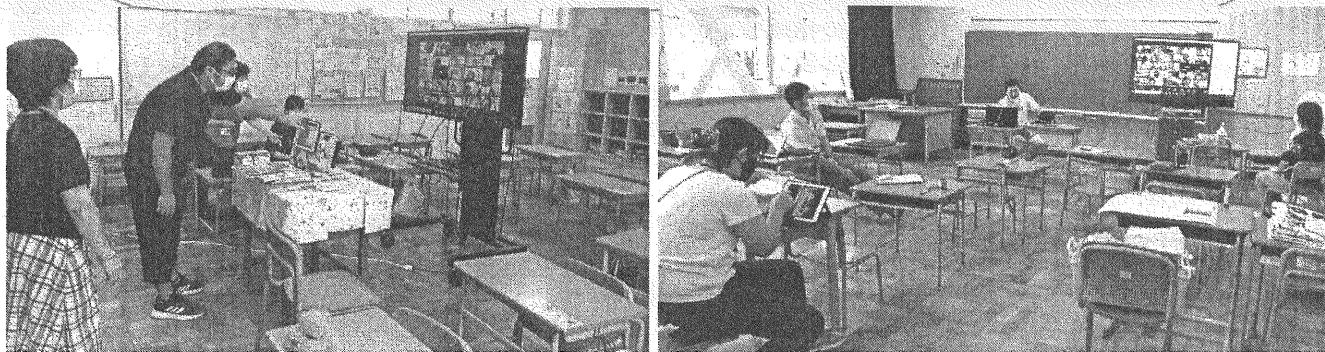
子どものチャレンジを支える (ICTの利用から学ぶ)

2学期はじめの3日間は、給食中止で午後からオンライン学習にチャレンジしました。1年数が月ぶり(1年生は初)、同時に3学年の実施ということで、不具合の電話連絡が殺到することを予想していましたが、取り越し苦労に終わりました。電話による問い合わせは初日ですら数件、最終日にはほとんどなくなりました。ご家族のサポートがあったのはもちろんのことですが、(今回は、兄・姉のサポートが強力だったという情報も得ています)子どもたち一人ひとりの能力の高まりにも感心させられています。

休業を想定した準備の意味をこめてのチャレンジでしたが、今月後半には家庭学習でもその能力を発揮しています。学習課題を指定したメール配信では、保護者の方には何のこともやらのわからない言葉が並んでいたかもしれませんが、これを見れば子どもは何をすべきかわかります。そんな時「これでわかるの?すごいなあ」なんて言葉をかけられたら嬉しいものです。この1か月をふりかえり、改めて思うこと、それは、大人は子どもの能力を決めつけてはいけないということです。

「1年生だからこれは無理だろう」「小学生にはハードルが高いから…」という大人の勝手な思いで子どもの活動に上限をつけていては、せっかくのチャレンジの芽を摘んでしまうこととなります。そんなことを痛感した9月でした。

学校だよりにおいて企業のコマーシャルを引用するのは好ましくないことですが、あえて… ICTを(I:いま始めれば C:ちょっと違う T:Tomorrow)としている発想に好感を持ちます。子どもたちの明るい明日を助けられる存在でありたいし、自分自身も明るい未来が持てる大人でありたいと願います。この地域にそんな人々が増えれば素晴らしい地域になることまちがいないです。何かをするのに遅いということはありません。大人もチャレンジできるものを見つけてみましょう。



ネットと正しくつきあう

9月6日、5,6年生を対象に「ネットモラル研修」を実施しました。今年度も講師の先生におこしただくことができず、オンラインの開催となりました。教室では、篠原嘉一先生の話に熱心に聞き入る子どもたちの姿がありました。なぜ、ゲームごとに年齢制限が設けられているのか、ゲームによって引き起こされた脳の障害は治らない等、ハッとさせられるような、ごく身近な内容だからこそ、この熱心に聴く姿があるのだろうと感じました。 児童の感想より…

- ゲームで他人の悪口を言うのは、絶対にいけないことだと思った。
- インターネットは便利なものだが、危険性も持っていることがわかった。投稿したものは何年も残ってしまっていて消すことができない。将来を台無しにしてしまう。
- ゲームをしていると時間を忘れてしまう。やめることができない。そうなってしまうことがこわい。ゲーム依存症にならないようにしっかりとやめたい。

10月 学校行事予定

1日 (金)	防災かまどベンチ制作(6年)	20日 (水)	クラブ活動
5日 (火)	学年費口座振替(6年)	22日 (金)	避難訓練(地震)
	北小希望の会の日	29日 (金)	マラソン大会
16日 (土)	運動会	運動会は、16.17日ともに実施できない場合は中止し、休業日となります。それにともない18日(月)は通常通りの授業日となりますが、給食の用意がありません。お弁当持参で登校させてください。	
17日 (日)	家読の日		
18日 (月)	振替休業(運動会中止のときは登校日)		
19日 (火)	2年校外学習		

学校の感染防止対策として、9月中は、市内の全小中学校で行事を中止していましたが、今後も緊急事態やまん延防止措置等の発令期間中は校外へ出かける活動や多くの人数が集まる活動を中止する措置をとります。また、先週にお知らせしましたとおり、今年度の修学旅行も宿泊をしない行程で実施します。

★ききょう



文責 尾中一彦

感動をありがとう(制限下の運動会②)

夏休みの縮小や他施設をお借りしての授業を乗り越えた直後の残暑のなか、「がまん」「制約」して取り組み、見る人に感動を与えた昨年の運動会。「今年だけの異例の運動会」と誰もが思っていました。しかし、現実はそのなかに甘くはなく、今年もマスクを外せないまま迎えました。9月に運動会を予定していた学校は延期。昨年が予定どおりの日程で実施できたことを考えると状況は悪くなったのです。この事態を想定することはできませんでしたが、残暑の厳しい炎天下での練習を避けることを理由に、新旭北小は運動会の時期を10月に変更することを昨年度末に決めていました。

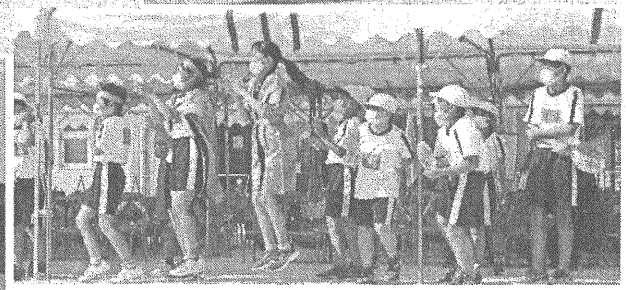
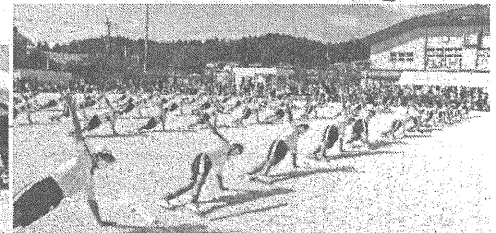
ふりかえてみると、三十数年前に私がこの仕事を始めた頃から運動会は9月が定番でした。何度か10月の実施を提案しましたが、この定番は変わりませんでした。近年になって5月に運動会を開催する学校も経験しました。5月も残暑を避けることには適していますが、それでも2学期に実施することの魅力は心の中から消えませんでした。そして、初めて10月に開催する機会を生み出しました。(思えば私が小学生の頃、運動会は10月でしたが…)

例年は、2学期が始まるやいなや運動会のスイッチがONとなり連日の練習が始まります。残暑は年々激しくなり、学校にクーラーが設置されてからは身体を温めたり冷ましたりの繰り返しの日々が続きました。でも今年は違いました。ゆったりと夏休みモードから学校生活の感覚を取り戻す時間が確保できました。運動会まで強火での時短調理が、弱火でじっくり煮込んでいくかのような過ごし方ができました。通常の授業をしながらも6年生は少しずつ自分たちの役割を自覚し、テーマ看板やマスコットのイラスト制作、応援のアイデアの話し合いなどを進めていました。3階の廊下や新館の階段の掲示板には担任の作成した運動会までのスケジュール表が貼り出され、残された時間に焦ることなく見通しを持っての活動をしてきました。

そして運動会まで10日を残す10/6(水)には、低・中学年の教室へ応援合戦のレクチャーに出かけました。6年生の感想には、緊張と達成感、教えることの難しさ、次回への意気込みが表現されていました。担任は、その日のうちに「今日の6年生の姿に感動した」と職員会議で語りました。運動会は、走ったり演技したりだけではありません。この行事を通してみんながひとつになる、高学年が成長してより大人に近づく意味を持っています。ここに2学期に実施する値打ちがあると考えます。1学期から登下校やたてわり掃除など様々な場面で煮込んできた料理が2学期にさらに具材を加えて味わいを深めていきます。この行事を通してひとまわり成長した6年生は、今後もさらに味付けをしていきます。もちろん、そんな料理の仕上がっていく様子を将来の自分の姿として、憧れの眼差しで見つめる下学年の子たちがいることを忘れてはなりません。

そして当日、秋晴れの下で一人ひとりが輝く日となりました。練習中「大声は出さない」という異例の指示を出していましたが、当日にはブレーキは効きません。これが北小の情熱です。数人の6年生の涙がそれを物語っています。感染症の収束を願い、明るい未来を願う地域のみなさんを元気づけ、勇気づける機会になったと信じています。子どもたちもこの行事を通して大きく育ちました。今後も成長を見守ってください。

えびおは
人をお元
にする
ありがとう
みんなが
幸せになる



子どもの学力について考える

5月27日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の集計が終わり、調査を受けた6年生には個人票を配付します。そこで、この結果から本校で明らかになった傾向についてお知らせします。昨年は、全国的な臨時休業となったため調査は実施できませんでした。今年度は、「国語」「算数」の2教科において調査がされました。

まず、**国語科**ですが…

基礎的な知識は身につけていますが、「資料から必要な情報を見つける」「文章が意図することを読み取る」といった読む力に課題があります。また、「文を要約する」「文の書き表し方を工夫する」といった書く力にも課題が見られます。そして、基礎的な知識である漢字を読む・書くことはできるのですが、「実際の文のなかで正しく使う」ことにも課題が見られました。

つぎに、**算数科**ですが…

基礎的な事項は理解できているのですが、「なぜそのように求めるのかの意味がわかる・それを説明する」ことや、「資料から読み取ったことを記述する」「例をもとに別の場合について説明する」という点に課題が見られました。

いずれの教科にも共通するのは、わかっていることをもとに新たな課題にそれを生かして解決したり、説明したりという力や資料を読み解いて課題に向かうことに弱さがある点です。これらの課題を克服するために、どのような手立てが必要かについて職員で協議し、実践していきます。たとえば、●じっくり読書をする機会をふやし、読む環境を整える。●資料から様々な視点で物事をとらえ、表現する。●友達の意見を聞いて理解し、自分の言葉で自分の意見を表現する。●計算の技能だけでなく、なぜそのように求められるのかという根本を大切にする学習をする。…など、取り組むべきことを共通理解し、学年に応じた取組を進めていきます。

市内の高校も変革しています

新旭北小学校のホームページでもお知らせしていますが、高島市内の高等学校（高島高校・安曇川高校）が今年度から新しい取組をされています。

高島高校には「文理探求科」が、安曇川高校には「ライフサポート系列」が、それぞれ新設されました。その合同説明会が開催されます。

10月23日(土) 13:30~15:00

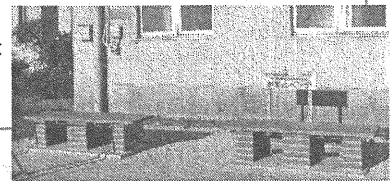
高島市民会館にて

一般の市民の方も参加することができます。お子様の将来に向けてお聞きになってはいかがでしょうか。くわしくは、QRコードから。



かまどベンチ

運動会の際にもご覧いただいたかもしれませんが、10月1日、滋賀県建設業協会のご好意により体育館前に「かまどベンチ」を設置していただきました。地元の建設業に関わる方々にご指導をいただき、6年生がセメントをレンガの間に流し込み積み上げる作業を体験しました。普段はベンチとして利用し、災害時、電気・ガスが使えないような非常事態には座面の木材を燃やして調理に役立てます。作業と並行して防災学習を行い、自然災害のこわさ、その備えを学びました。かまどとして使う日が来ないことを願っていますが、防災に対する意識を高めるための財産として大切にに使わせていただこうと思います。



11月 学校行事予定

1日 (月)	委員会活動	19日 (金)	6年修学旅行
3日 (水)	文化の日		食育の日
4日 (木)	歯科指導(2年)	22日 (月)	5年校外学習
5日 (金)	校内人権月間~12/4		1年校外学習
	北小希望の会の日		クラブ活動(3年見学)
	学年費口座振替(全)	23日 (火)	勤労感謝の日
8日 (月)	水曜日日課(14:45下校)	24日 (水)	4校時授業(13:20下校)
	放射線出前授業(6年)	26日 (金)	人権集会
	家庭学習がんばり週間	28日 (日)	市美術展(~12/1)
10日 (水)	4年校外学習	29日 (月)	家庭学習がんばり週間
11日 (木)	卒業写真(6年)		県下一斉清掃の日
14日 (日)	家読の日	30日 (火)	3年校外学習
15日 (月)	愛鳥の森活動(4年)		
	PTA実行委員会		
18日 (木)	卒業写真(6年)		

感染状況により変更または休止することがあります。校外学習について詳しくは各学年のおたよりをご覧ください。



ききょう



文責 尾中一彦

これからの時代を生き抜くために①(地域住民アンケートより)

8月末から9月にかけて地域の自治会役員のみなさま、民生委員児童委員のみなさまにアンケートを実施させていただきました。設問は、次の5つです。

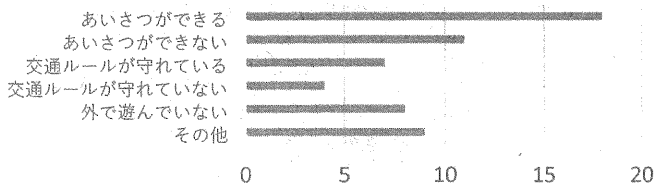
- ①地域(北小学区)の子どもたちについて、日頃感じておられることをお書きください。
- ②小学生が地域行事に参加できていますか。その行事は?
- ③地域で、子どものことが話題になることはありますか。どんな話題に?
- ④地域と学校と一緒に取り組める活動があればお答えください。
- ⑤子どもたちがどのように育てほしいとお考えですか?

そして、46名の方から回答をいただきました。ありがとうございます。その結果は以下の通りですが、このアンケートで明らかになった点は、

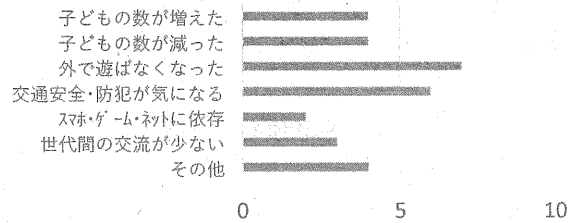
- ①地域住民と子どもの距離が遠くなりつつあること、
- ②もっとその距離を縮めて将来の地域を担う子どもたちのために何かできることはないかと考えてくださる方々がいらっしゃる事、
- ③自立した大人へと育てほしいとの願いを持たれていること、です。

今後、地域との結びつきをさらに深め、地域のみなさまに見守られながら、自分で考え自分で行動できる子どもの育成をめざした教育活動が展開できるよう、準備を進めたいと思います。

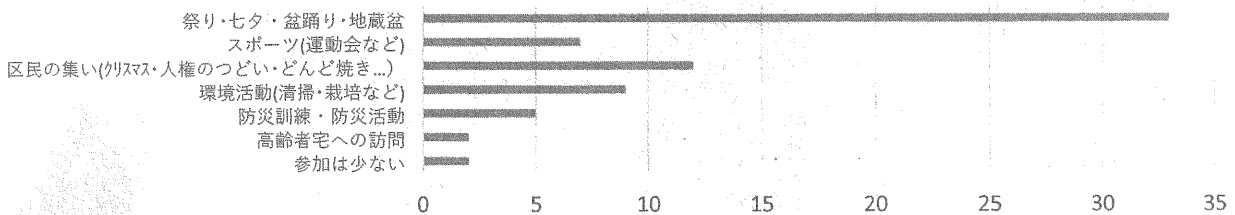
1子どもたちについて感じることは?



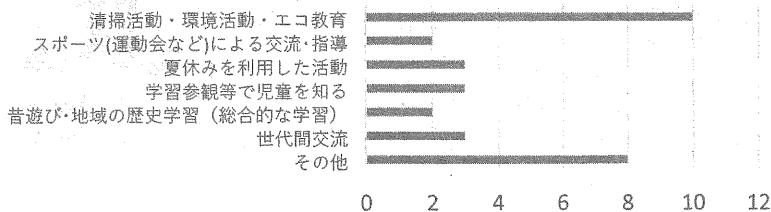
3地域で話題になる子どものことは?



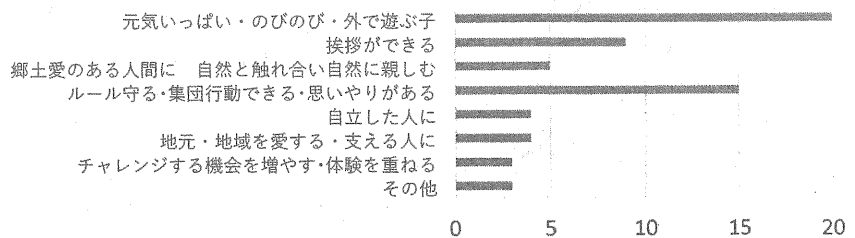
2小学生が参加する地域行事は?



4地域と学校と一緒に取り組める活動は?



5子どもにどんなふうに育てほしい?



これからの時代を生き抜くために②(市内高校の変革)

前月号でも紹介しましたが、10月23日(土)に開催されました高島高校・安曇川高校合同学校説明会について紹介をします。冒頭で高島市の上原教育長は、「以前の学校は、一つの答えにたどりつく学びをしていたが、これからの学校は、一つではない答えに向かって思考・判断・行動する学びが必要である」と語りましたが、その言葉を裏付けるような説明会でした。まず、高校のイメージが一変しました。数年前まで何度も高校の授業を参観させていただく機会に恵まれました。それらはすべて外国語の授業でした。生徒がいくつもの課題のなかから自分で選んだり、割り当てられたりした課題に向かって自主的に取り組み、異なる課題に取り組んだ生徒に自分の学びを説明する、解説するといった授業が主流でした。このスタイルは外国語ならではの特性だと感じていましたし、実際そうでもあったようです。しかし、今は違います。他の教科でもさかんにそういった学習方法を取り入れていることがわかりました。文部科学省は、高校教育の在り方として「卒業後の大学等において学びを深めたり、実社会で様々な課題に接したりする際に必要となる力を身に付けるための学習が高等学校教育の全体を通じて行われなければならない」としています。

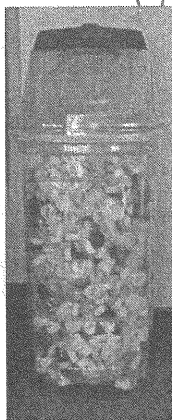
高島高校には、今年度から普通科に加えて「文理探求科」が創設されました。この名前からも探求的な学びを目指すことがわかりますが、普通科も含め、自分たちの課題を設定して協力しあって学びを進めています。市役所・企業・大学等と連携しながら課題を解決しようとしています。説明会での生徒の発表では、琵琶湖の水に含まれる微小なプラスチックの量やそれが及ぼす影響について自分たちの見出した答えを聴くことができました。

安曇川高校には、今年度「ライフサポート系列」が創設されました。安曇川高校の特徴は、総合学科として普通科・商業科・工業科等にも負けない学びを提供しているところです。「なりたい自分に出会える」をモットーに、自分の進みたい道を入学後に選び、工業系、商業系、情報系、医療・保育・福祉系と、進む道に沿った自主的な学びを選ぶことができます。市内企業等と連携し実習体制も整っていますし、企業の方が学校へ出向いて実践的な学びに協力もしています。

このような市内の高校の学びにつながるよう、数年後の子どもたちの姿を思い浮かべながら、小学校はその準備段階としての責任を果たさなければならないと痛感しました。子どもたちに与えられるだけの学びでは自立した子どもは育ちません。学校が変わらなければならない点はここにもあります。先に述べた地域住民のみなさまのアンケートとも重なりますが、主体的な学びができる環境を地域の人々を交えて創り出していきたいと考えています。

ペットボトルキャップの回収を再開します

ある保護者の方が会話のなかで「もう、ペットボトルキャップの回収はしてないんですね。このあいだ捨てちゃいました」とおっしゃいました。いつの間にか見かけなくなったのは、回収ができなくなったからだとわかりました。しかし、問い合わせしてから数日後、偶然にも回収できる見通しがついたとの連絡がありました。高島高校の生徒の発表にもあるようにプラスチックごみの問題は深刻です。SDGsが推進される今だからこそ、みなさまのご協力をお願いいたします。(児童昇降口付近に置いてあります。)



ふるさとを誇れる人に

感染症がある程度の収まりを見せていることから、11月は地域の方などを講師に招いた学習を取り入れています。11月4日には琵琶湖周辺の水害を避けるために立ち上がった『藤本太郎兵衛』さんの学習をしました。深溝に生まれ親子三代、50年以上もの歳月をかけた事業を学習するにあたって、講師の石田弘子さんは、学習の冒頭で「地域の人のために尽くした生き方を知り、みんなが新旭に誇りを持ってほしい」と話されました。「地域を愛し、将来の地域を担う人に育てほしい」今号で紹介している地域住民アンケートに寄せられた意見とも重なるところです。



12月 学校行事予定

6日 (月)	学年費口座振替(5,6年) 北小希望の会の日	19日 (日)	家読の日
8日 (水)	委員会活動	21日 (火)	保護者懇談会
10日 (金)	食育の日 学校運営協議会	22日 (水)	給食終了
13日 (月)	ピカピカ週間(月~金)	23日 (木)	2学期終業式
		24日 (金)	冬季休業(~1/6)
		1月 7日 (金)	3学期始業式(給食は11日から)